

■大野町（おおのちょう）

人口 22,803 人 面積 34.20 km²

【ノルディック
ウォーキング】



大野町は、濃尾平野の西北端で、揖斐川と根尾川、なだらかな山々に囲まれ、富有柿やバラ苗等の農産物の生産が盛んな自然豊かな地域です。岐阜市、大垣市まで一般道で 30 分圏内、東海環状自動車道の I C が新設されてさらに都市部へのアクセスが向上しました。また、多くの古墳が密集する「野古墳群」や大正時代の豪商の邸宅「旧北岡田家住宅」など文化財を多く有し、歴史のロマンを身近に感じることができます。

○甘い富有柿、バラの香り



全国有数の柿の生産地であり、特に富有柿は町の誇る特産品です。その最高級品は「果宝柿」としてブランド化され、贈答などに人気を集めています。



バラ苗の生産は、全国シェア 4 割を占めています。毎年 5 月に行われるバラまつりでは、丹精こめられて一斉に咲き誇る 2 千本のバラが見られるほか、バラ苗の農家直売が人気で、多くの来場者が会場のバラ公園を訪れます。

○道の駅「パレットピアおおの」

平成 30 年 7 月にオープンした岐阜県最大級の道の駅「パレットピアおおの」は、開駅以来、年間 50 万人を超える多くの来場者をお迎えしています。地場産の野菜等の販売はもちろん、「大野町らしさ」を取り入れたレストランやベーカリー、デリ、カフェは、地域の憩いの場ともなっています。



また、観光情報発信、防災、公共交通の拠点としてだけでなく、子育て支援センターを併設しています。子どもたちに木のぬくもりを伝えるおもちゃをたくさん備えた「子育てはうす ぱすてる」は親子連れに大人気です。

○歴史のロマンが薫るまち

町内には 200 基を超える古墳が点在しており、中でも今から 1500 年前に野地区に密集して造営された古墳群は稀であるとして、「野古墳群」が国の史跡に指定されています。また、稲富地区の来振寺が有する「絹本著色五大尊像」が国宝に指定、西方地区の「牧村家住宅」が国重要文化財に指定されるなど、先人が守り続けてきた多くの文化財を有し、それらを紹介する埋蔵文化財センター「あけぼのミュージアム」を 6 月に開館しました。

